

第6回カフェマスターミーティング

○今後について

「オレンジ・カフェ」運営開始から半年経ちました。マスターの皆さんのおかげでうまくいっています。いろいろな場面から「マスターさんの力」が伝わってきます。「マスターサンステップアップ講座」は、過去に養成講座を受講していない初めての人もどうぞお誘いください。来年2月に4期の「カフェ・マスター養成講座」を実施予定です。現在マスターとして活動中のおよそ60名の仲間ですが、年齢や様々な事情で継続して活動できない人もおいでです。4期の講座終了後に、新たな仲間を迎える方向です。マスターさんの手順書(マニュアル)。新たにマスターに参加した人は、お持ち帰りください。「何をするか」の具体的な話はその都度聞いてください。マニュアルはマニュアルでしかないので、臨機応変。お客様が第一をお願いします。皆さんの対応、コーヒー、どちらも好評です。(林さん、本日手作り差し入れありがとうございます。)

11月から SOS ネットワークづくりを調査活動と併せて強化していきます

「カフェ・オレンジ」は 拠点モデルから地域へ広げていく役割を担っています

- ① サロンの運営のお手伝い
- ② 当事者(MCI・若年性)と出会うためにどうする?
- ③ サロンの調査を始めます。(11月から 年度内に冊子作成)

調査活動に参加可能な方、お申し出ください。

何を調べるのか?

- ・情報提供と情報収集
- ・認知症の知識を持ってもらう(サロンからオレンジカフェへ)
- ・認知症の方が周りにどのくらいいるか?
- ・お食事をどうされていますか?(大切な調査項目)
- ・サロン参加者はほとんど女性 でも男性も居場所が必要

「お食事に来ませんか?」は一人暮らしの男性に有効なアプローチ

カフェ・オレンジの「三つ折りパンフレット」と名刺サイズのご案内を作成しました。

ご案内にご活用ください。

○2017年1月29日(日) 第6回 認知症・北九州大会

カフェ・オレンジを会場に開催します。(本日の理事会で内容を決定後、ご連絡します。)

どうぞご参加ください。

○11月3日(木・祝日) RUN 伴 開催

認知症の人の支援のためのタスキリレーです。西日本総合展示場を出発して、10:30分ごろ、アシスト21に到着します。よかったら是非応援にきてください。

○10月30日(日) 糖尿病フェスタが5階を会場に開催されます。活動スペースの準備はマスターさんが開錠してから行きます。特別何かする必要はありませんが、毎年200人規模の参加があるイベントだそうです。カフェの来場もいつもの日曜日より多いかもしれません。

○マスターさんの体験交流(エピソード)を共有しましょう。

※お話の際、どこ、誰 は外しましょう。▶個人情報になるので、引っかけないように

・男性が一人で来場しました。本を読みに来たのかと思いをかけずにいました。相方のマスターさんが話しかけたら 2年前に82歳になる妻が認知症を発症し、入院か施設入所で離れて暮らすようになったそうです。男性は現在息子さんと暮らしていますが、奥さんが一緒にいない寂しさをずっと話されました。自分が鬱なのではないかとも言われ、声をかけた方がよい場面だったんだと改めて判断の難しさを感じました。鬱に関する本を読んでいたのですが、たくさんお話して帰りは笑顔でした

・グループでの来場で、はっきり認知とはわからないが、後から遅れてきた人にコーヒーを出したら「コーヒーは自分は嫌いなのにまた出された。」と苦情を言われました。同じグループで「お砂糖は？」と尋ねたら「3つ」と言われ、ご要望通りに対応したらとても喜ばれました。同じグループでもいろいろな人がいます。

・73歳になる母は、若年性認知症を患って8年経ちます。40代の娘さんの話です。娘である自分のこともわからなくなりました。受け入れられずにつらい日々を過ごしていましたが、介護度が出てから自分の向き合う気持ちに変化しました。「早く迎えに来て」から、「そんなお母さんでもいてほしい」と思う現在です。今は穏やかな時間が流れています。

・手話を再度習いました。

・地域にカフェづくりを持ち帰りますが、なかなか進みません。地域の文化祭が終わったら、「助けを求めている人の対応」を改めて掘り出そうと思っています。

・友達にカフェ来場の声をかけたら、「来たけど何にもならなかった」と言われました。「知りたい」「教えてほしい」というあなたの思いが大事と話しました。後日、「自分の心が病んでいた。ごめんなさい。」と謝罪と打ち明け話をされました。「また来ます」とのことです。

・「母が認知症なんです」と相談に来られたので、すぐ事務所につなぎました。先にいくらかお気持ちを伺ってからつないだ方がよかったかもしれませんが、見極めが難しいです。➡すぐに事務所につないでも全く問題ないです。特に緊急性があるときは、事務所のスタッフにつないだ方がいいです。

・知らない方に話しかけるときのスキルを、マスターの先輩から学んでいます。いい勉強になります

・ベテランマスターさんに教えてもらい助かっています

・マスターさんがそれぞれ得意技持っています。認知症の奥さんが心を開いて、昔話やご自分の胸の内を打ちあけているのを見ました。

・一人暮らしの男性の食事はどうなっているのでしょうか？昼食会にお誘いしても出てきません。食事にことは実際困っていると思います。カフェの設置場所の問題もあるのかと思います。

(空き家の利用 1回2000円とうようなところもあるようです)

・相方のマスターさんとじっくり話ができてうれしいです。どうSOSネットワークをつくっていく？その必要性を痛感する出来事がありました。

2年間がん闘病の妻をなくした近隣の男性が自死。娘さんはオーストラリア在住、息子さんと男性はあまり折り合いがよくない 亡くなった妻からは「主人のことお願いします」と言われていたのに、声をかけることができませんでした。この男性は鬱病で63歳なのに、80歳近く見えました。高齢の人が多い地元で課題だと思えます。

・絶対に行かなくちゃいけないところを、1か月に3か所は作ろうと思っています。頑張って、頑張って出かけています。2日前に地域で文化祭がありました。おばあちゃんが・・・と周りの方は思われたかもしれませんが、フォークダンスを3曲踊り、とても楽しかったです。こうやって外に出ていくことが認知症予防になっていると思います。

皆さんからの発言を受けて・・・

失敗はするもの、相手のある事でもあり「こうだろう」という予測と現実が違っている場合もあります。残された人が男性の場合、声のかけ方がなかなか難しいです。サロンというような場（できれば食事のついた）があればお誘いしやすいと思います。

今後、医学的な鬱の勉強の機会を設けます。

自分の気持ちを開放できる方、そうでない方、さまざまな人がいます。

来場した人に語って頂く と、しゃべることで乗り越えられる場合もあります。食べると乗り越えられることもあります。

地域包括支援センターとのつながりも今後ますます重要になっていきます。

事務所につなぐ のはOKです。家族の会のコールセンターにもつなげます。

カフェ・オレンジは「住んでいる地域」にある訳ではない拠点施設なので、「いい距離感」が持ち味の場所です。

・「認知症の勉強をしたい」という思いがきっかけで、長行に集まる場ができました。「ふれあい家族」さんとのコラボ で進めています。

- ・マスターの先輩と話すことが勉強になります。
- ・小さい子供と若いお母さんの来場に心癒されました。
- ・今は知識がありませんが。地元で手伝いたいと思っています。
- ・畳コーナーができるといいと思います。今あるマットを活用できるといい。
- ・おしゃべりは役に立つと思いました。
- ・生花がきれいで気持ちいいです。
- ・認知症の人は、ほとんどのことが分かっています。
- ・相談に来られる場所がある 家族会ともつながることができるのがいいと思います。
- ・高齢化率4割の町で暮らしています
- ・気づかずに人を傷つけていることもあるかもしれません。ずっと悔やんでもいられないので、「ま、いいか。」で乗り越えられるようにしたいです
- ・目標を決めたら到達度を確認することが大切だと思います。喜びや新たな仕事への挑戦に役立ちます。

カフェモデルを地域へ ➡評価

- ・牧山で2泊3日の事業 道に迷っている高齢者は、こどもが連れて行ってくれます。認知症の人に学んでいく必要。サロンは食べてお茶飲んでばかり でもその次は・・・一人一人と友達になるように！

皆さんの発言を受けて・・・

地いろいろな専門職がありますが、マスターさんは地域づくりの専門職かもしれません。来場の方の話の内容が難しいときは、二人で話を聞いてください。さらに難しければ事務所へただし経験に基づいた意見を持っていても、その方に価値観の押しつけはしないようにここは入り口の入り口 認知症はスタートですが、子供 若い方 障害 どなたでも・・・ですマスターの皆さんにボランティア保険をかけました

皆さんのアイデアをどんどん下さい。

地域にはカフェ運営の手がありません。皆さんどうぞ、地域の手になって下さい。

「応援できます」のアピール (参加者さくら含む)

- ・視覚障碍者の方の来場のとき、「私は見えないけれど、いい講座の広報を言ってみる言えることができる」と言われました。2時間おしゃべりしとても聞き上手で感心しました。
- ・マスターの素晴らしいパートナーからいろいろ学ぶことができます。これからもいい出会いをたのしみにしていきます。
- ・講座の後話す場があるのはとてもいいと思います。

オレンジカフェ



カフェマスター研修会(第1期)

5月7日(土)に、アシスト21 5階にオレンジカフェがオープンします。

その運営をお手伝いいただくのが「オレンジカフェ カフェマスター」です。

基本おもてなし役ですが、少しだけ学んでいただきます。ご興味をお持ちの方、是非この研修会にご参加をお願いします。

オレンジカフェって？

認知症の人とその家族にとって自分らしさを発揮し、社会とかわりの持てる場所であるとともに、情報交換や共感ができ、心が安らぐ場所として運営されるカフェです。専門職や研修を受けた市民ボランティアも参加し、カフェという日常的な場で、交流することを通じて、認知症への偏見をなくし認知症になっても暮らしやすい地域をつくるきっかけとなる場所でもあります。

—「認知症カフェハンドブック」より引用—

開催場所: アシスト21 5階 オレンジカフェスペース

時間: 13:00~16:00 (全6回)

募集人数: 25名~30名(応募者多数の場合は第2期にご案内します)

1. 4月17日(日) 認知症の基本を学びましょう!

講師: たつのおとしごクリニック院長 小野隆生 先生

2. 4月20日(水) くすりについて学びましょう!

①くすりのこと、訪問薬剤師のこと 講師: 池田薬局様

②メーカーからの発信 講師: (株)エーザイ様

3. 4月22日(金) 介護保険の現状とこれから いろいろな市のしくみ

講師: 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課

4. 4月25日(月) 当事者の方を真ん中に交流会!

(若年性認知症・MCI【軽度認知障害】の方々とともに)

5. 4月28日(木) お口にかかることを学びましょう!

①口腔衛生のこと 講師: 介護塾・歯科医 久保哲郎先生

②栄養ラボってなあに? 講師: 福岡県栄養士会 長江紀子先生

6. 4月30日(土) そして地域へ! 広めましょう! ファイブコグ

講師: ACE理事長 上村英樹先生

お問合せ・お申込は・・・ 認知症・草の根ネットワーク事務局

田代 090-7159-1133

中村 090-2968-9463

お申込は・・・FAX:093-963-3075(田代方)

オレンジカフェ



カフェマスター研修会(第1期)

申 込 書

(1枚で2名様まで申込頂けます。)

氏 名	年 齢
	才
住 所	連絡先
所属団体のある方はご記入下さい	

氏 名	年 齢
	才
住 所	連絡先
所属団体のある方はご記入下さい。	

お問合せは・・・ 認知症・草の根ネットワーク事務局

田代 090-7159-1133

中村 090-2968-9463